

はま Y O U



駐車場が完成しました

Vol.
28
2014.冬号

CONTENTS

理念・基本方針…………… 2

診察室から
～冬の感染症について～…………… 2～4

はまゆうDMAT、
和歌山県広域医療搬送訓練に参加… 5

診察室から
～泌尿器科とはどんな科?～…………… 6～7

……………

各部署から—外来のご紹介—…………… 8

各部署から—検査室のご紹介—…………… 9

救急症例検討会を開催しました…………… 9

秋祭りを開催…………… 10

医療倫理研修会…………… 10

……………

管理栄養士のおすすめレシピ…………… 11

病院協会ソフトボール地区大会優勝… 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

小児科外来

診療日 / 月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時
ふるくぼ かずひろ

担当 : 古久保 和洋 医長

婦人科外来

診療日 / 月～水曜日 午前・午後
木・金曜日 午後

受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時
くにべ ひさや

担当 : 國部 久也 副院長



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中
訪問看護師・訪問リハビリセラピスト

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切に医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだ
あんしん。
みんなが、
だれでも
いつでも



診察室からのお話

～冬の感染症について～



副院長
赤松 功博

気温が下がり、空気が乾燥してくるとウィルスの活動が活発になります。そのため冬になると風邪や感染性胃腸炎が多くなります。

これらの感染症に罹らないためには、予防することが大切です。予防の第一は原因であるウィルスが進入してくるのを防ぐことです。といっても、相手は目に見えないし、においなどありません。また、ウィルスの種類によって体への入り方が異なります。

わー大変、予防なんて無理、と思わないで。すぐできる予防のポイントがありますので実行してください。



予防のポイント

① 手洗い

次のようなとき石鹸と水道できれいに洗いましょう。手ふきはペーパータオルがベター。



トイレの後
外出から帰ったとき
調理前、食事前

② うがい

うがいをすることによって、口やのどの痰などを取り除き、粘膜の自浄作用が促進されます。



③ 体調

水分、栄養、リラックス、これらの不足やアンバランスは、ウイルスへの抵抗力である免疫を低下させます。冬場も脱水に注意。

(参考) ビタミンA(粘膜強化)、ビタミンC(抗酸化作用と白血球増強)、ビタミンE(抗酸化作用と血行促進)

きちんと睡眠、疲労を貯めない。



④ 環境

部屋の掃除、調理器具などの洗浄。ウイルスの好む「低温」と「乾燥」の逆を。



さらに

- ・保温は免疫に良い影響(病気の時熱が出るのは免疫や代謝を高め抵抗力を上げる一面があります)。
- ・保湿はのどを守ります(加湿器もよいが、マスクも有効です)。

⑤ 予防接種

インフルエンザワクチンが有効です。



⑥ 行動

流行時は人の集まる場所は避ける。人にうつさないためのマスクエチケット。



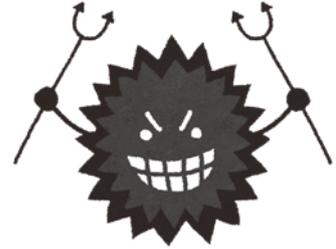
さらに、たとえ感染症に罹ったとしても、重症にならないためには、予防のポイントのどれもが効いてきます。

つまり、日ごろから体調管理をしっかりして、体力をつけておくこと、慢性の持病のある方は、きちんと管理しておくこと、受けることのできる予防接種は打っておくこと。

また、早めの受診を心がけましょう。

治療に関しては、インフルエンザ、A群溶連菌感染症以外は特異的な抗生剤はありませんので、発熱、嘔吐、下痢、脱水などの症状徴候に対する対症療法が主となります。

代表的な感染症



① ノロウイルス感染症

二枚貝が感染源の場合があるが、嘔吐物や下痢便で人から人へうつります。突如の嘔吐、続いて水様の下痢が見られます。

② ロタウイルス感染症

5歳までに多くの人が罹り、かなり激しい下痢、嘔吐、発熱がみられます。年長の子供や大人も罹りますが、症状は軽く済みます。米のとぎ汁のような白い下痢が特徴です。脱水に注意が必要です。

③ インフルエンザ

潜伏期間(感染してから発症するまでの時間)は1~3日で、38℃以上の発熱、全身倦怠、関節痛がまず起こり、その後に喉の痛みや咳などが起こります。迅速キットでウィルスが検出された場合、発症から48時間以内なら抗ウイルス薬が有効です。そのタイミングを過ぎると薬を飲まない場合の自然経過と変わりありません。

持病のある方は主治医と相談し重症化を防ぐ必要があります。

また、小児の場合、脳症に気をつける必要があります。高齢の方は肺炎に注意する必要があります。

④ RSウイルス感染症

3歳までにほとんどすべての子供が罹りますが、6ヶ月以内のお子さんの場合重症化する傾向があります。

呼吸時にゼーゼーといった喘息のような音が特徴的です。重症化した場合、呼吸困難を伴います。家族内での感染が見られ、大人も罹りますが、鼻かぜ程度で済みます。

⑤ A群溶連菌咽頭炎

小児に流行する咽頭炎です。抗生物質で治しますので、きちんと診断を受けて、きちんと薬を飲んで治療しましょう。

はまゆうDMAT、 和歌山県広域医療搬送訓練に参加

例年より参加機関や参加者の数も訓練スケールもずっと大規模な訓練となりました。オスプレイの参加が注目を集め、マスコミの方々も多数来られていました。

南紀白浜空港へ参集したのは、当院、和医大、日赤和歌山、和歌山ろうさい、公立那賀、橋本市民、有田市立、国保日高の県内8病院と、八尾駐屯地よりCH47（チヌーク）にて参集した兵庫県災害医療センター、大阪府立急性期・総合医療センター、京都第一日赤、近江八幡市立総合医療センター、奈良県総合医療センターの5病院、陸上自衛隊衛生隊・陸上自衛隊37連隊、和歌山県庁職員その他関係者のみなさま。



医事課係長
布袋 仁也

訓練は白浜空港、くしもと町立病院、護衛艦いせ、海保巡視船とさ、神島台運動公園等紀南地方のさまざまな場所で行われました。訓練シナリオにのっとり、各訓練場所にDMATが散らばり、広域医療搬送訓練が進行していきました。

今回のはまゆうDMATのミッションは白浜空港に設置されたSCU（医療搬送拠点に設置する臨時医療施設）本部にて本部活動に従事すること。本部長は和医大の島先生、副本部長兼ロジスティックリーダーは不肖布袋。島先生はロジスティックにも精通されてる先生ですから私が指示を出すことはほとんどなく、島先生の号令で本部運営はほぼ予定通りに進んでいきました。林・須崎の両看護師も、それぞれ患者受付担当と本部一診療部の調整・伝令担当を務めました。

広域医療搬送と聞いても実際どんなことをするのかイメージしづらいと思いますが、要は県内の各医療機関にて医療搬送適応と判断された患者を空港SCUにいったん集め、SCUでトリアージや治療を行い、優先順位をつけて重症患者から域外へ航空機で搬送を行うというものです。東南海・南海地震応急対策活動要領に基づく防災計画においても白浜空港にSCUが設置され、長崎や福岡に患者を搬送すると明記されています。

今回の訓練を通じて感じたことは、災害医療の基本である指揮命令系統の確立が非常に重要であるということ、DMATが用いる広域災害医療システムの操作にまだ習熟できていない点があること、多機関が一堂に会し情報が錯綜するSCUにおいてはとにかく「わかりやすさ」が大事であるということなどがあります。この辺は経験をつんで慣れていくしかないと思います。「日本で一番SCUの近くに位置するDMAT指定病院」（と思います）として責務を全うできるよう、これからも努力していきたいと思えます。

診察室からのお話



～泌尿器科とはどんな科?～

泌尿器科部長 川嶋 秀紀

本年7月より白浜はまゆう病院に常勤医としてお世話になっている川嶋です。4月に赴任した木村先生と常勤医2名体制で泌尿器科の診療をしています。

まず、泌尿器科とはどのような診療科なのかをお話したいと思います。教科書的には、泌尿器科は尿路と男性性器の疾患を扱うとされています。すなわち、腎臓、尿管、ぼうこう(膀胱)、尿道、前立腺、精巣、陰茎などが対象臓器です。それら臓器の癌、感染症、機能障害、先天異常や尿路の結石が対象疾患です。具体的には腎癌、尿管癌、ぼうこう(膀胱)癌、前立腺癌、精巣腫瘍といった癌、精巣上体炎、前立腺炎、尿道炎、ぼうこう(膀胱)炎、腎盂腎炎といった感染症、ぼうこう機能(排尿機能)障害、性機能障害、男性不妊、停留精巣、腎・尿管結石などです。副腎腫瘍の手術もします。日経新聞の朝刊の連載小説「禁断のスカルペル」でおなじみの腎移植も泌尿器科で行います。昔は泌尿器科というと性病(尿道炎)という何となく受診するのが後ろめたく暗いイメージがありましたが、実際は以上のような多彩な疾患を、ある時は内科的に、ある時には手術で治療する間口も奥行きも深い診療科で、アメリカでも日本でも外科の一分野として扱われています。



泌尿器科は診療科としての歴史は比較的浅いのですが、そのせいもあってか30年前には体外衝撃波による結石破碎装置を、最近では手術支援ロボット「ダヴィンチ」などその時代時代の最先端の治療をいち早く取り入れています。また、高齢化社会ではそのニーズも増えており、最近ではわが国の医学部卒業生の進路としても人気のある診療科の一つとなってきました。

私は長い間、大学の医学部で泌尿器癌の臨床や研究を行ってきましたが、主な泌尿器科の癌を概観すれば、腎癌は癌免疫や分子標的薬が有効、ぼうこう(膀胱)癌は遺伝子損傷型の癌で抗がん剤が比較的有効、前立腺癌は男性ホルモン依存性が特徴といった具合に各々が非常にユニークであり、泌尿器科はとても多彩な癌を扱っているといえます。そして何よりも、前立腺癌の患者数はどんどん増えてきています。

以上やや専門的に泌尿器科の紹介をいたしました。それでは泌尿器科の病気はどのようにして見つかるのでしょうか?大雑把に言うと尿の異常、排尿障害や排尿に関する症状、健診で見つかると思えば良いでしょう。すなわち血尿であればぼうこう(膀胱)や腎臓など尿路の癌が疑われますし、血尿に腹部の痛みを伴えば腎臓や尿管などの結石を疑います。尿が出にくかったり近かったり排尿に際して痛みがあれば前立腺やぼうこう(膀胱)や尿道のいろいろな病気が見つかります。早期の前立腺癌はPSAという血液検査で、早期の腎臓癌も健診時の腹部エコーで見つかることが多いです。

白浜はまゆう病院泌尿器科の木村先生と私(川嶋)はそれぞれ京都府立医科大学、大阪市立大学医学部泌尿器科学教室で母校の教員を務め多くの経験を積んできました。

木村先生は抗がん剤治療や内視鏡手術、私は腹腔鏡手術、ホルモン抵抗性前立腺癌の治療、排尿機能障害を専門としており、当院では小児の先天異常、男性不妊、腎移植を除いた幅広い泌尿器科疾患の診療や手術に対応できると自負しています(当院では必要ありませんが川嶋は腹腔鏡下ドナー腎摘のスペシャリストです)。

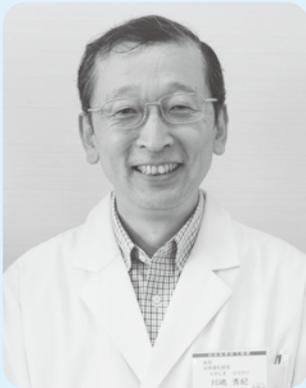


大病院の泌尿器科ではありませんが、地域の皆様のご満足できる、行き届いた質の高い泌尿器科診療をするように努力いたしますので、近隣の地域の方も、地域外の方も一度、受診あるいはご相談にお越しいただければ幸甚です。泌尿器科疾患に関してお困りのことがあれば、一緒に考えさせて頂ければと思います。今後のご支援・ご鞭撻をなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

かわしま ひでのり
川嶋 秀紀

泌尿器科部長(和歌山市出身)

プロフィール



略歴

- 1984年 大阪市立大学医学部卒業
- 1989年 大阪市立大学大学院医学研究科博士課程修了
- 1989年 大阪市立桃山市民病院 泌尿器科医員
- 1991年 大阪市立大学助手(医学部泌尿器科学教室)
- 1993年 米国ペイラー医科大学リサーチアソシエイト
- 1994年 米国テキサス大学医学部リサーチフェロー
- 1997年 大阪市立大学助手(医学部泌尿器科学教室)
- 2002年 大阪市立大学講師(大学院医学研究科泌尿器病態学)
- 2007年 大阪市立大学准教授(大学院医学研究科泌尿器病態学)
- 2014年 白浜はまゆう病院 泌尿器科部長

資格など

- 医学博士
- 日本泌尿器科学会 専門医・指導医
- 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本内視鏡外科学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 臨床研修指導医
- 身体障害者福祉法による指定医師(ぼうこう又は直腸障害:和歌山県指定)

趣味

鉄道・スキー(今はしていません)・ウォーキング・実験(今はしていません)



泌尿器科診療案内

白浜はまゆう病院

		月	火	水	木	金	土
初再診	午前	木村	木村	木村/川嶋	木村	木村	当番医
	午後	川嶋	—	—	—	—	—
専門外来	午後	—	川嶋	—	—	川嶋	—

診療所

		月	火	水	木	金	土
鮎川診療所	午前	川嶋	—	—	—	川嶋	—
	午後	—	—	—	—	—	—
日置診療所	午前	—	川嶋	—	—	—	—

各部署から

～外来のご紹介～



外来師長 佐山 淑子

病院が新しくなり、白良浜を一望する自慢のオーシャンビュー、白を基調とした壁、車イスの移動もしやすくなった広いフロア、整備された専用トイレ、来院された方に気持ちよく過ごして頂ける環境が整いました。

外来は、来院された患者様が診療部門で最初にお会いするところです。安心して診療を受けられ気持ちよくお帰り頂けるように、患者様の声に耳を傾け症状や困っている事、またご希望やご意見をお聞きするようにしています。

また外来は、診察するだけではなく治療を行っている場所があります。

今回は、化学療法室についてご紹介します。



大きな窓で明るく広々とした化学療法室

外来化学療法とは

がんの治療において化学療法（抗がん剤治療）は、手術療法や放射線療法とともに重要な位置を占めています。

これまで、繰り返し入院して治療しなければならなかった、がん化学療法が新薬の開発や副作用の軽減など医療の進歩により、外来でも安全に行われるようになりました。

このことにより、患者様は自宅で普段の生活を送りながら、通院で抗がん剤治療を受けることができます。

現在、当院では消化器、呼吸器がんに対する化学療法及び、関節リウマチ、潰瘍性大腸炎に対する生物製剤療法を行っています。

登録リウマチ看護師2名を含む4名の看護師で担当医師、薬剤師と協力して7床を使って、最良の治療を提供できるよう努めています。



ベッドの他にリクライニングチェアもご用意しています



安全に調剤するためのキャビネット

昨年（2013年度）は、抗がん剤療法108件、生物製剤療法455件実施しました。

快適に治療を受けて頂けるように、リクライニングチェアや液晶テレビ、Wi-Fiも御利用頂けます。看護師から全席が見渡せるよう安全性にも配慮しています。

外来化学療法へのご要望、ご質問などがございましたら、いつでもお気軽にスタッフにお尋ねください。

～検査室のご紹介～

検査室は新本館の中央部の、薬局と外来処置室に面した所にあります。

検査室の仕事は大きく分けて2種類で、検体検査と生理検査があります。検体検査はさらに外注検査（ルーチン検査）と院内至急検査に分けられ、院内至急検査は血液学的検査（CBC）生化学的検査（肝機能、腎機能 etc）一般検査（検尿、沈査 etc）輸血検査、感染症簡易検査（インフルエンザ、アデノ etc）となっています。生理検査は心電図、肺活量、ABI、脳波、聴力、視野、心エコー、腹部エコー、関節エコー、乳腺エコー等行っています。また、健診の腹部エコー検査も担当しています。



検査室スタッフ

検査技師は4名（男1、女3）で日々の業務を行っています。診断、治療の一助となれるよう日々努力してまいりたいと思います。よろしくお願い致します。



超音波診断装置（左）と心電計（右）



検査室には検体検査の為に機器が並んでいます

白浜町消防本部のご協力のもと救急症例検討会を開催しました

救急医療週間にちなんで、9月11日に当院地下会議室にて救急症例検討会を開催しました。今回の検討会は、白浜町消防本部のご協力の下、救急隊による現場活動および特定行為（器具を用いた気道確保など、医師の指示がないと実施できない医療行為）を実演していただき、その内容についてディスカッションを行うという形式で行われました。

救急隊の方々が現場でどのような活動をしているのか目の前で見ることができ、職員一同大変貴重な経験をすることができました。

この場をお借りして、白浜町消防本部のみなさまに御礼申し上げます。



2014年度秋祭りを開催しました

レクリエーション委員会 南館5階 介護福祉士 楠本 法寿



白浜はまゆう病院レクリエーション委員会主催による秋祭りが、10月5日に開催されました。昨年は、天候に恵まれ院外で実施する事が出来ましたが、今回は台風の到来により、急遽院内での開催となりました。

秋祭りは、患者様・ご家族様に「季節感を味わって頂くと共に、各階との交流を図る」を目的にレクリエーション委員会で計画し、各部署で準備を行い開催しています。今年も各病棟・セラピスト・医事課・総務課スタッフの協力のもと、患者様に季節を感じながら日常とは違う時間を過ごしていただけたのでは、と思っています。

昨年に引き続き、フラダンスチーム「アロハ・プーウァイ・オ・フラ」に参加して頂きました。今回は、院内デイルームでのショーとなりましたが、子供達が一生懸命踊る姿をみて、微笑む患者様やご家族様、そしてスタッフも大いに楽しむことができ、院外で行った昨年と同様に好評でした。



子供たちが可愛い踊りを披露してくれました



秋祭り終了後も、患者様やご家族様から「楽しかったよ」「有難う」と沢山の喜びの声を頂き、悪天候の中での開催でしたが、多くの方に来て頂き無事に出来たことをレクリエーション委員始め、スタッフ一同喜んでます。また、日頃からご家族様、地域の皆様と協力頂き感謝いたします。

今後も、安心・安全そして満足頂けるような内容で企画し、より楽しめる秋祭りやレクリエーションの実施に努めていきたいと思えます。

院内医療倫理研修会を開催しました

白浜はまゆう病院教育委員会主催にて、10月29日の17時45分より2014年度院内医療倫理研修会を開催しました。

今年度は和歌山赤十字看護専門学校 副学校長 高岸 壽美氏を講師にお招きし「ベッドサイドの倫理を考える」をテーマにご講演頂きました。就業後の開催に関わらず90名の職員の参加となりました。

高岸先生は学校では基礎看護学を担当されており、看護師なら誰もが学んだナイチンゲール誓詞から始まり、現場で体験するような事例も取り上げて分かりやすくお話頂きました。

普段業務に携わっていると当たり前になり意識しなくなりがちですが、再度「医療倫理」について考える良い機会となりました。ご講演有難うございました。



研修会の様子

私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第20回



サンラータン

大根の酸辣湯

酸辣湯麺の中華めんの代わりに大根をピーラーで削った大根麺(?)にしました。中華めんと比べてマイナス200kcalで歯ごたえがあり十分満足できる1品です。豆板醤とラー油はお好みで調整してください。



食養科副科長
吉川 貴子

サンラータン 大根の酸辣湯



栄養価
エネルギー…281kcal
たんぱく質…21.2g
脂質…14.9g
食塩…1.7g
食物繊維…4.6g

材料			
豚肉……………	40g	椎茸……………	10g
エビ……………	1尾	にら……………	20g
食塩……………	少々	サラダ油………	2g
酒……………	2g	豆板醤……………	2g
片栗粉……………	少々	しょうゆ………	2g
白菜……………	50g	酢……………	8g
人参……………	10g	こしょう………	少々
えのき……………	30g	ごま油……………	2g
		砂糖……………	1g
		中華スープ……	600ml
		大根……………	100g
		卵……………	1個
		ラー油……………	適量
		水溶き片栗粉……	

作り方

- ①豚肉は細切り、エビは殻と背ワタ、尾を取り一口大に切り、塩・酒・片栗粉をまぶしておく。沸騰した湯でさっと茹でておく。
- ②白菜、人参、椎茸、生姜は千切り、えのきは半分、ニラは2～3cm程度に切っておく。大根は皮をむき、ピーラーで麺のように削っておく。
- ③鍋にサラダ油をひき豆板醤を弱火で炒める。香りが出てきたら中華スープを入れる。(辛さが苦手な方は控えめに)
- ④③のスープに生姜、人参、椎茸を入れる。
- ⑤調味料のしょうゆ、酢、こしょう、ごま油、砂糖を入れる。
- ⑥①と残りの野菜を入れる。火が通ったら、水溶き片栗粉でとろみを付ける。一煮立ちしたら溶き卵を回し入れる。
- ⑦大根麺を入れて火を止める。好みでラー油を加える。

和歌山県病院協会ソフトボール大会 県下決勝大会準優勝



9月5日に田辺市神島台運動場で行われた和歌山県病院協会ソフトボール大会御坊・田辺地区予選で見事三連覇を果たし、10月19日の県下決勝大会に出場することとなりました。

昨年は、台風の影響により決勝大会の開催日が変更になった為、出場辞退ということになりましたが、今年度は選手の皆の頑張りにより、準優勝を飾ることが出来ました。

選手の皆様、お疲れ様でした。



白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	山崎 幸茂	佐藤 啓	伊藤 揚荘	赤松/松本	松本 潤	高村 竜一郎
		午後	伊藤 揚荘	赤松 功博	松本 潤	高井 恵美	赤松 功博	
	内科2(再診)	午前	赤松 功博		松尾 晃次	松尾 晃次	山崎 幸茂	
		午後	中村 信男			井神 仁	山崎 幸茂	
	内科3(再診)	午前			赤松 功博			
		午後						
	内科4(再診)	午前		齊藤 豊		佐藤/中川	辻 淳	
		午後	松本 潤	木下 正博	佐藤 啓	中川 武正		
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚荘	谷口 友志	伊藤 揚荘	谷口 友志	
		午後	辻 淳		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科	午前	当番医	寒川 玲	久保 秀正	寒川 玲	久保 秀正	当番医	
脳神経外科	午前				中北 和夫			
整形外科	午前	安野 翔平	安野 翔平	小池 達也	安野 翔平	岩切 健太郎		
装具外来	午前		装具外来		装具外来			
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
皮膚科	午前						県立医大	
	午後		県立医大					
眼科	午後			芦田 淳		井村 良子		
耳鼻咽喉科	午後				県立医大			
循環器外来	午後	中村 信男						
呼吸器外来	午前			松尾 晃次	松尾 晃次			
アレルギー・呼吸器専門外来	午前				中川(第2・4)			
	午後				中川 武正			
腎臓内科	午前		齊藤 豊					
泌尿器科外来	午前	木村 泰典	木村 泰典	木村/川嶋	木村 泰典	木村 泰典	当番医	
	午後	川嶋 秀紀						
泌尿器科専門外来	午後		川嶋 秀紀			川嶋 秀紀		
神経内科・リハビリテーション専門外来	午前	小口 健	廣西 昌也	中崎 繁明		中崎 繁明		
	午後	中崎 繁明	石口 宏		小口 健			
リウマチ外来	午前		小池 達也		小池 達也			
膠原病・糖尿病専門外来	午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘			
糖尿病専門外来	午後				井神 仁			
消化器専門外来	午前	山崎 幸茂		谷口 友志		谷口/山崎		
	午後			谷口 友志		山崎 幸茂		
循環器・高血圧専門外来	午前						有田 幹雄(月2回)	

※木曜日午前 内科1診…第1・2・5(赤松)、第3・4(松本) ※木曜日午後 内科4診…第1・3・5(佐藤)、第2・4(中川)

2014.12.1現在

※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月~土)	8:30~11:30 9:00~12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
午後(月~金)	13:30~16:30 14:00~17:00	
循環器外来(月)	14:00~16:30	
皮膚科(火)	13:00~15:45 13:30~16:00	
糖尿病外来(火)	14:00~16:00 14:00~16:00	
眼科(水)	12:00~14:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30 14:30~17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30~11:00 9:00~12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682